

日本NIE学会会報

第16号

[発行所] 日本NIE学会事務局 〒739-8524 東広島市鏡山1-1-1 広島大学大学院教育学研究科 朝倉淳研究室内
TEL/FAX 082-424-7130 E-mail: aasakura@hiroshima-u.ac.jp

※平成22年度より上記に移転しました。

日本NIE学会第7回大会のご案内（二次案内）

日本NIE学会会長 小原友行
第7回大会実行委員長 村田隆紀

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日本NIE学会第7回大会を以下のとおり開催いたします。皆様お誘い合わせの上、ご参加くださいますようお願い申し上げます。

1 期 日 2010年11月27日(土)～28日(日)

第1日 11月27日(土)

11:30	12:00	13:00	14:45	15:00	16:45	17:00	17:45	18:00	20:00
受付	理事会	シンポジウム1	シンポジウム2	総会	懇親会				

第2日 11月28日(日)

9:20 12:00

自由研究発表

2 会 場

京都教育大学（京都市伏見区深草藤森町1）

JR奈良線・「JR藤森」駅下車徒歩約3分

京阪本線・「墨染」駅下車徒歩約7分

3 参加費 大会 2,000円（学生・院生 1,000円）
懇親会 4,000円

4 後 援

京都府教育委員会、京都市教育委員会、京都府NIE推進協議会、京都教育大学

5 プログラム

【11月27日(土)】

受付 11:30~ [共通講義棟2階]

理事会 12:00-13:00 [1号館B棟2階・B2教室]

シンポジウム1 13:00-14:45 [共通講義棟・大講義室Ⅱ]

テーマ「新学習指導要領と新聞活用」

パネリスト 高木 まさき (横浜国立大学)
橋本 祥夫 (京都教育大学附属京都小中学校)
野村 理恵 (寝屋川市立第四中学校)
野津 孝明 (島根県教育センター)
コーディネータ 岡本 利昭 (大阪府教育センター)

シンポジウム2 15:00-16:45 [共通講義棟・大講義室Ⅱ]

テーマ「メディア社会とNIE」

パネリスト 川口 加代子 (高知市立江ノ口小学校)
樋口 克次 (大阪経済大学)
柳澤 伸司 (立命館大学)
直野 信之 (京都新聞社)
コーディネータ 阪根 健二 (鳴門教育大学)

総会 17:00-17:45 [共通講義棟・大講義室Ⅱ]

懇親会 18:00-20:00 [学生会館1階・生協食堂]

【11月28日(日)】

自由研究発表 9:20-12:00 (第一会場のみ9:20-11:30)

●第一会場 [共通講義棟1階・F12教室]

司会：重松 克也 (横浜国立大学)、挽地 一代 (奈良市立二名小学校)

発表題目

発表者

- | | |
|---|---|
| 1 NIEにおける情報探索と学習効果に関する一考察
—図書館情報学の情報探索を鍵概念に— | 京都 京都教育大学附属京都小中学校
(京都教育大学大学院生) 橋本 祥夫 |
| 2 平和で民主的な市民を育てる「新聞教育」の構想 | 愛知 安城市立錦町小学校
(愛知教育大学大学院生) 市川 正孝 |
| 3. NIE社会科における授業枠組みの開発
—先行実践の類型化を通して— | 鹿児島 鹿児島大学○田口 紘子
鹿児島大学大学院生 山下 博之 |
| 4 「昔」の新聞の授業内活用法を探る —明治～昭和の
新聞を対象とした研究と教材開発の試み— | 茨城 古河市立古河第三中学校
○久保田 亘
東京 明治大学 佐藤 有紀 |

●第二会場 [共通講義棟 1階・F16教室]

司会：植山 俊宏 (京都教育大学)、角森 久美子 (大阪市立西九条小学校)

発表題目	発表者
1 国語科における新聞教育の変遷—昭和22年度 学習指導要領試案から新学習指導要領まで—	京都 京都教育大学附属桃山中学校 神崎 友子
2 「読む」「書く」「話す」「聞く」力を伸ばす NIE実践上の工夫	兵庫 宝塚市立宝梅中学校 岡本 光子
3 シティズンシップを育成するNIEの構想と実践 —中学校国語科を核とした試み—	大阪 大阪市立昭和中学校 植田 恭子
4 クリティカルリーディングから自己へのまなざしへ —文学・新聞・ドラえもん—	奈良 奈良女子大学附属中等教育学校 二田 貴広
5 NIEにおけるリテラシー概念の検討	東京 東京都立小石川中等教育学校 稲井 達也

●第三会場 [共通講義棟 2階・F26教室]

司会：福田 徹 (武庫川女子大学)、鎌田 隆 (甲子園学園高等学校)

発表題目	発表者
1 高校公民科における合理的意思決定力を育成 するために活用可能な新聞記事の条件 —授業実践, 授業構想の分析を通して—	大阪 大阪府立三島高等学校 松井 克行
2 「NIE」学習と「主題学習」 —地理学習を通じて学習構造を考える—	東京 都立高校講師 小橋 一久
3 MICROからMACROへ —「中高大の授業で すぐに使える【ENIE】」に関する実践研究—	三重 日生学園第一高等学校 山西 敏博
4 生徒会でもNIE! —図書委員の主体的取り組み—	岡山 岡山県立岡山城東高等学校 畝岡 陸実
5 スクールジャーナリズムとNIE	神奈川 神奈川県立横須賀高等学校 中根 淳一

●第四会場 [共通講義棟 2階・F22教室]

司会：森田 英嗣 (大阪教育大学)、矢野 佳津 (奈良県立生駒高等学校)

発表題目	発表者
1 コラム要約の作業は大学の学びに有効か —入学前の高校生180人に8週間連続のコラム要約 を課し小論文を書かせた試みとその分析—	京都 立命館大学 秋田 典昭
2 留学生専門教育におけるNIE導入に向けた予備調査 —留学生のマスメディア利用行動の分析—	兵庫 近畿医療福祉大学 勝田 吉彰
3 NIEを基盤とした保護者・地域との連携 —連携新聞づくりを通して—	香川 高松市立太田南小学校 ○田 中義人
	徳島 鳴門教育大学 阪根 健二

- 4 NIEで学ぶ日本語・日本社会 東京 東京国際大学附属日本語学校
—日本語学校の取り組みと展望— ○宮 弘 美
肥田野 美 和
- 5 NIE・F・B・L 熊本 熊本日日新聞社
—社会全体での新聞活用を— (熊本県NIE推進協議会事務局長)
越 地 真一郎

6 参加申し込み

事前に下記宛に参加申し込みをお願いいたします。同封の「郵便払込取扱票」をご利用下さい。
(申し込み締め切り：11月6日)

ゆうちょ銀行口座番号	00990-5-109626
口座名称(漢字)	日本NIE学会京都大会実行委員会事務局
口座名称(カナ)	ニホンエヌアイイーガツカイキョウトタイカイジッコウイインカイジムキョク

※学会費の振込口座とは異なりますので、ご注意ください。

7 発表資料部数等

大会当日に発表資料を配布される場合は、以下の部数をご用意ください。

シンポジウム 250部 自由研究発表 100部

なおシンポジウムの当日資料は、事前に送付いただければ大会実行委員会事務局でお預かりします。その場合は250部印刷したものを11月20日(必着)までに、大会実行委員会事務局までご送付ください。当日ご持参いただいても結構です。

自由研究発表につきましては、恐れ入りますが各自ご持参くださいますようお願い申し上げます。

8 宿泊について

宿泊等の手配につきましては各自でお願いいたします。

大会開催時期は京都の秋の観光シーズンと重なりますため、京都市内での宿泊予約をお取りいただくことが難しいかもしれません。会場校はわりと交通の便が良いところにありますので、大阪方面や滋賀方面などからでも大会にご参加いただきやすいと思います。

お問い合わせ先・シンポジウムの当日資料の事前郵送先

〒612-8522 京都市伏見区深草藤森町1 京都教育大学
日本NIE学会第7回大会実行委員会事務局 平石 隆敏
Phone 075-644-8213
E-mail hiraishi@kyokyo-u.ac.jp

会報ニュース

◆事務局からのお知らせ

1 日本NIE学会機関誌発行委員会からのお知らせ

本年度については、第7回大会（11/27, 28）から機関誌投稿締め切り（11/30）までの間隔が短いため、原稿修正期間を考慮し、同大会の発表を投稿する場合に限り、12月10日（当日消印有効）まで受け付けます。

なお、字数オーバーや図表配置が示されないなど、投稿規定が十分に遵守されていない原稿が増えております。再度ご確認のうえ、投稿規定を遵守して投稿いただきますようお願いいたします。

2 学会費等振込先変更のお知らせと学会費納入のお願い

平成22年度会費が未払いの方には払込用紙を同封しておりますので、2010年度の学会費の納入をお願いします。行き違いの場合はご容赦くださいませ。なお、事務局移転にともない学会費等振込先を以下のとおり変更しております。

金融機関名	ゆうちょ銀行
口座記号番号	01360-2-100956
口座名称	日本NIE学会
口座名称	ニホンエヌアイイーガッカイ

(他行からの振込みの場合)

店名(店番)	一三九(イチサンキュウ)店(139)
預金種目	当座
口座番号	0100956

学 会 費	法人会員	50,000円
	正 会 員	5,000円
	準会員(学生)	2,000円

日本NIE学会第7回大会 会場(京都教育大学)案内図

